

地震がおきたら

地震発生

■落ち着いて自分の体を守る

家具や天井の下敷きにならないよう、丈夫なもので身体を保護しましょう。

■火に近づくな

都市ガスは震度5相当以上で自動的に遮断されます。無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで近づかないようにしましょう。



■ラジオ・テレビをつける

被害情報をできるだけ早く確認しましょう。

■くつ・スリッパをはく

割れたガラス等から足を守るために、くつ・スリッパを履きましょう。

■家族の安全を確認

けが人が出た場合は、自力や近所の助けを得て病院へ向かうことを考えましょう。

■火元を確認

ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。

■非常持ち出し品の用意

■余震に注意

余震に備えて外に出る場合は、安全な服装で身を守りましょう。



～3分

～3時間

■避難

火災・建物倒壊等災害の状況に応じて避難しましょう。

■メモをのこす

家を離れるときは、目立つ場所に行き先や連絡先の書いたメモを残しましょう。

■ブロック塀・がれき・倒れかけた家屋等

余震が発生する可能性があるため、危険な場所へは近づかないようにしましょう。

■車で逃げない

道路は緊急車両のために空けておきましょう。



～3日

■水・食料は備蓄でまかなう

災害からの3日間は、家庭での備蓄でまかないましょう。

■正しい情報を手に入れよう

テレビ・ラジオ等で正しい情報を手に入れましょう。

■壊れた家には入らない

応急危険度判定が行われるまでは二次災害を防ぐため、近寄らないようにしましょう。

地震による揺れと被害

震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。棚にある食器類は首を立て、座りの悪い置物が倒れることがある。	多くの人が、身の安全を図ろうとする。家具が移動することがある。窓ガラスが割れて落ちることがある。	非常に恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。タンス等重い家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀の多くが崩れる。	立っていることが困難になる。耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。	立っていることができず、はわないと動くことができない。耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。

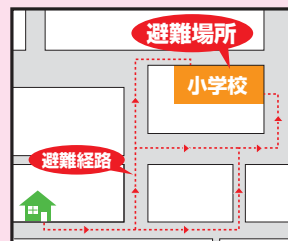
災害に備えましょう

●我が家の防災マップをつくろう

■家の付近の危険な場所や避難場所を確認しましょう。

■避難経路は1つではなく、通行できない場合に備えて複数決めておきましょう。

■避難場所や避難経路等をイラスト等で簡単にあらわした「我が家の防災マップ」を作成しましょう。



●非常持ち出し品

男性は
約15kgが目安

女性は
約10kgが目安

■基本品目35点 ※大人2人分の目安

- 非常持ち出し袋 1個
- 缶入り乾パン (110g) 2個
- 飲料水 (500mlペットボトル) 6本
- 懐中電灯 (予備電池) 2個
- ローソク 2本
- ライター 2個
- 携帯ラジオ (予備電池) 1台
- 十徳ナイフ 1本
- 軍手・手袋 2組
- ロープ (5m～) 1本
- 救急袋 1枚
- 毛抜き※ 1本
- 消毒液※ 1本
- 脱脂綿※ 適量
- ガーゼ (滅菌)※ 2枚
- ばんそうこう※ 10枚～
- 包帯※ 2巻
- 三角巾※ 2枚
- マスク※ 2枚
- 常備薬・持病薬等※ 適量

- カイロ 適量
- 雨具 2着
- はし・スプーン・フォーク 2セット
- レジャーシート 1枚
- サバイバルブランケット 2枚
- 簡易トイレ 2枚～
- タオル 4枚～
- ポリ袋 10枚
- トイレットペーパー 1ロール
- ウェットティッシュ 2個
- 現金 (公衆電話用の小銭) 約50枚
- ガムテープ (布製) 1個
- 油性マジック (太) 1本
- 筆記用具 1セット
- 生理用品
- 防災マップ



※は救急袋の中に入れておきましょう。

■個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

必需品・貴重品類

- 車や家の予備鍵
- 予備メガネ・コンタクトレンズ等
- 預金通帳 (写)
- 健康保険証 (写)
- 運転免許証 (写)
- パスポート・外国人登録証等 (写)
- 要援護者への支援プラン

赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- おやつ
- スプーン
- バスタオル
- 紙おむつ
- 玩具
- ベビーカー
- 毛布

高齢者用品

- 高齢者手帳
- おむつ
- 着替え
- 持病薬
- 予備メガネ
- 看護用品



※非常持ち出し品は、リュックサック等両手が自由に動かせるものに入れ、いつでもすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。家族構成を考え必要最小限に絞り込み、一度背負ってみましょう。また、少なくとも年に一度は点検しましょう。

風水害時に避難するときは

■早めに避難しましょう

「まだ大丈夫」「自分だけは大丈夫」と思い込まず、早めに避難しましょう。テレビやラジオの情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。



「避難準備情報」 発令時

人的被害の発生する可能性が高まった状況です。

要援護者や避難行動に時間を要する住民等は、避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始）しましょう。それ以外の住民等は、家族等との連絡、非常持ち出し品の準備等、避難準備を開始しましょう。

「避難勧告」 発令時

人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況です。通常の避難行動ができる住民等は、避難所等への避難を開始しましょう。

「避難指示」 発令時

前兆現象の発生等人的被害の発生する危険性が非常に高い、もしくは人的被害の発生した状況です。

すべての住民等は、避難を直ちに完了しましょう。

風の強さと想定される被害【平均風速(m/秒)】

10以上～15未満 やや強い風	15以上～20未満 強い風	20以上～25未満 非常に強い風	25以上～30未満 非常に強い風	30以上～ 猛烈な風
傘がさせない	風に向かって歩くことができない	車の運転を続けるのは危険な状態となる	樹木が倒れ始める。瓦が飛び始める	屋根が飛ばされる等、木造住宅が壊れ始める

雨の強さと想定される被害【1時間雨量(mm)】

10以上～20未満 やや強い雨	20以上～30未満 強い雨	30以上～50未満 激しい雨	50以上～80未満 非常に激しい雨	80以上～ 猛烈な雨
長く続くときは注意が必要	側溝等から水があふれることがある	マンホールから水があふれることがある	地下街に雨水が流れ込むことがある	大規模な災害が発生するおそれ強い

防災に関するくわしい情報については

■危機管理室 (HPアドレス <http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/>)

■平野区役所 (HPアドレス <http://www.city.osaka.lg.jp/hirano/category/1279-3-3-0-0.html>)

■大阪市役所 (HPアドレス <http://www.city.osaka.lg.jp/johokokaishitsu/page/0000011375.html>)

■地図情報サイト マップナビおおさか (<http://www2.wagamachi-guide.com/osakacity/>)



避難場所一覧

広域避難場所

同時多発火災が発生し、人命に著しい被害を及ぼすと予測される場合の、大規模な避難に適する大きな公園等。

□瓜破霊園

□久宝寺緑地

□百済貨物駅

収容避難所

台風・地震等の災害時に宿泊・給食等の生活機能を提供できる学校等。

小学校

□平野小学校

□喜連西小学校

□長吉小学校

□瓜破東小学校

□平野西小学校

□喜連北小学校

□長吉出戸小学校

□加美小学校

□新平野西小学校

□長吉東小学校

□川辺小学校

□加美南部小学校

□平野南小学校

□長吉南小学校

□瓜破小学校

□加美北小学校

□喜連小学校

□長原小学校

□瓜破西小学校

□加美東小学校

□喜連東小学校

□長吉六反小学校

□瓜破北小学校

中学校 他

□平野中学校

□長吉西中学校

□摂陽中学校

□瓜破中学校

□平野北中学校

□瓜破西中学校

□喜連中学校

□加美中学校

□大阪教育大学附属特別支援学校

□加美南中学校

□大阪教育大学附属平野中学校・高等学校

□平野高等学校

□長吉中学校

□東住吉高等学校

□長吉六反中学校

□市民交流センターひらの



一時避難所

一時的に避難できる広場、公園や学校の校庭等。

区内の公園等

裏面の防災マップの色の部分が一時避難所です。

最寄りの避難場所への道順を日頃から確認しておきましょう。



避難所では・・・

●周りの方へ心配りをしましょう

●困っている人がいたら助けましょう

●生活のルールや役割を守りましょう

●日常生活に戻るよう考えましょう

